3. 上课 篇

(上课前的教室。学生们在座位上乱哄哄地说着话。)

田中：老师说今天发上次考试的成绩，是吧！

渡边：嗯。

田中：啊，好紧张啊！

渡边：没关系吧！

田中：不是，其实上次考试的前一天，我身体不太舒服，

渡边：哦。

田中：考试的时候头疼的要炸了。

渡边：啊，是吗？那可真够受的，现在怎么样了？

田中：已经没事了。

渡边：哦，那就好。

老师：早上好。

学生们：早上好。

老师：今天发上次考试的成绩。哦，对了，发之前先把昨天的作业交上来。

田中：哎呀，糟糕。把作业的事忘得一干二净了。

渡边：唉？怎么了？昨天都干什么了？

田中：和朋友去唱卡拉 OK，回去的时候紧赶慢赶才赶上最后一班电车，到家后倒头就呼呼大睡了。

渡边：哦。(只出声音)

田中：对不起，老师，我忘带作业了，明天再交可以吗？

老师：嗯。都已经是大学生了，应该做好自我管理。今天只能这样了，下次可不允许了啊！

田中：知道了。对不起。

老师：好了，现在开始发成绩。(开玩笑地说)大家一定很期待吧！

学生们：诶？

老师：我粗略看了一下，大家的成绩不错哦！

田中：太好了，过 70 分了，啊，这下可以把心放到肚子里了。

老师：成绩好的同学不要骄傲，成绩不太好的同学也不要气馁。

老师：好了，今天就到这里吧。

学生们：谢谢！

（在讲台上收拾东西的老师和田中。）

田中：老师。

老师：什么事？

田中：我想要再提高一下英语能力，应该怎么做呢？

老师：这个嘛。首先，认真完成作业（挖苦的表情），

田中：对不起。

老师：其次嘛，做好预复习，不断和同学或外国朋友用英语交流的话，就会有长进的。

田中：那样的话就能讲一口流利的英语了吗？

老师：嗯，总之多尝试一些方法总会有所提高的。努力吧！

田中：知道了。

（教室里。课间休息。）

山田：啊，你的鞋好亮啊，新买的吗？

田中：嗯。前几天在新宿买的。

山田：真好看。

田中：是最后一双，我非常喜欢这个颜色，而且大小正合适。

山田：运气真好啊！（只出声音）

田中：而且正好赶上开业特卖，半价买的。

山田：啊？真的？我也想买。

你说的开业特卖，是之前电视上介绍的那家新开的百货店吗？

田中：是。

山田：怎么样啊？

田中：人超级多。店门一开，大家蜂拥而入。

山田：是吗？

田中：嗯。结账的时候也是，收款台前面的人们排着大长队，我等了一个小时才交上钱。

山田：哇，真吓人。

(教室里。课间休息。)

渡边：喂，喂。

铃木：啊，吓我一大跳。

渡边：怎么了？在那儿发呆？

铃木：没什么。

渡边：是吗？？是不是在想昨天约会的事啊？

铃木：不是。

渡边：看看，脸都红了。(笑)

铃木：烦不烦人啊！那么“咯咯”地笑。都说了不是了。

渡边：好了好了，知道了，知道了。

3. 授業 編

(授業前の教室、学生が着席してがやがやしている。)

田中：今日はこの間のテストを返すって先生言ってたよね。

渡辺：うん。

田中：あ～、どきどきするなあー。

渡辺：大丈夫だよ。

田中：いや、実は、テストの前の日から、調子があんまりよくなって、

渡辺：うん。

田中：テストの時は頭ががんがんしてたんだ。

渡辺：え、そうなんだ。大変だったね。今はどう？

田中：もう大丈夫。

渡辺：そう、よかった

(先生が教室に入ってくる)

先生：おはようございます。

学生たち：おはようございます。

先生：今日はテストを返します。あっ、その前にですね、昨日の宿題を出してください。

田中：あっ、しまった。すっかり忘れてた。

渡辺：えー？なんで？昨日何してたの？

田中：友達とカラオケに行って、帰ったのが終電ぎりぎりだったんだ。家に着いたらそのままぐっすり。

渡辺：あ～あ。(声のみ)

田中：すみません、先生、宿題は持ってきてないんですが、明日でも大丈夫ですか？

先生：うーん、もう大学生だから、ちゃんと自己管理をしてください。今日はしょうがないくらいいいけど、今度はだめだよ。

田中：はい。すみません。

先生：じゃ、テストを返します。(冗談ぽく) 皆さんわくわくしているでしょう？

学生たち：えー？

先生：皆さんの成績をざっと見たけど、悪くなかったよ。

田中：よし、70点を超えた。あー、ほっとした。

先生：成績のいい人は満足しないで、あんまりよくない人もがっかりしないように。

先生：じゃ、今日は終わらしましょう。

学生たち：ありがとうございました。

(教卓で帰り仕度中の先生。)

田中：先生。

先生：はい。

田中：あのう、私、もっと英語能力を伸ばしたいんですけど、どうしたらいいでしょうか？

先生：そうだなー。まず、きちんと宿題をして（皮肉っぽい表情）、

田中：すみません。

先生：それから、予習と復習をして、友達同士とか外国人の友達と英語でどんどん話せば上手になると思うよ。

田中：そうすれば、ぺらぺらになりますか。

先生：まあ、いろいろ試してみることだね。頑張って！

田中：はい。

(教室、休み時間。)

山田：あ、靴、ぴかぴかだ。新しいの？

田中：うん。この間、新宿で買ったの。

山田：かわいいね。

田中：ラストの一足で、すごく色が気に入ったんだ。しかもサイズもぴったり。

山田：いいね。(声だけ)

田中：しかもちょうど開店セールで、半額だったんだよ。

山田：えー？本当？あたしも買いたいなあ。開店セールって、この間テレビで紹介されてた新しくできたデパートのこと？

田中：そう。

山田：どうだった？

田中：すごい人だったよ。お店のドアが開くなり、人がどっと入って。

山田：そんなに？

田中：うん、会計の時も。レジの前も人がずらりと並んで、私1時間くらい待たされたよ。

山田：うわぁ、大変だったね。

(教室)

渡辺：ねえねえ。

鈴木：ああ、びっくりした。

渡辺：どうしたの？ぼんやりして。

鈴木：何でもない。

渡辺：本当??もしかして、昨日のデートのこと?

鈴木：違うよ。(顔が赤くなって、恥ずかしそうな表情になる。)

渡辺：ほら、顔が赤くなった。(笑い)

鈴木：うるさいなあ。そんなゲラゲラ笑って。違うって言ってるでしょ。

渡辺：はいはい。分かった、分かった。